10年後の自分と、京都のまちの、
ミライとモンダイを考える。

京都市基本計画審議会

U35のメンバーが市民にわかりやすくレポートします！

傍聴記 vol.10

共汗部会　第2回まちづくり部会

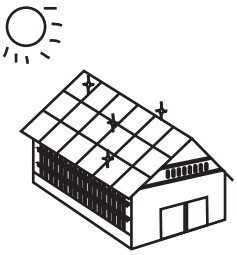
（都市計画、住環境、都市基盤分野）
主な議事：分野別方針＜都市づくり・景観＞の検討
開催日：平成21年12月21日（月）
会場：消防局本部庁舎

レポーター　平井 陽さん

大学時代ストリートダンスに明け暮れ、2006年「BigBangOSAKA」にて特別賞受賞。現在京都大学大学院修士2回生。2009年「京（みやこ）・未来予想図」市長賞受賞

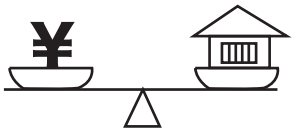
会議のポイント

POINT 1.
都市づくりと景観の中間領域



景観の悪化という理由だけでコインパーキングの必要性を無視できるのか？環境面を配慮してのエコカーやソーラーパネルは京都の景観にふさわしいと言えるのか？といった議論が交わされました。

POINT 2.
強みと問題点は表裏一体



例えば町家の保存や景観優先の結果、財政上の問題が生まれている。強みとしての景観と問題点としての財政の比重をどう捉えるのかというお話がありました。

この会議を傍聴して、平井さんが思ったこと。

京都の景観に関しては、公開のまちづくり審議会での議論があり、平成15年に新しい京都ルールができています。そしてそのような背景をもとに、平成19年の新景観政策があります。これらの過程で京都の景観に関する多くの議論が蓄積されているはずなので、今回それらを基にした議論が交わされるべきであったと思います。
また、「望ましくない土地利用」に対して「望ましい」ものとは何なのか？景観と経済の比重をどう考えるのか？非常に難しいことではありますが、そのあたりに関してある程度の共通認識がなければ議論がループしてしまい、せっかくの時間のムダになるのではないかと思います。

私ならこうする！未来の京都に向けた平井さんの提案

今回景観とコインパーキングの話がでたのでそれに関連した提案です。現在京都の町並み景観を害している（と言われている）要素の一つに駐車場があげられると思います。コインパーキングや住宅の前面駐車場等がありますが、要するにそれぞれの敷地で駐車スペースを確保しようとするので、結果的に建物の前面ラインが統一されずデコボコになってしまいます。
そこで、大きな街区レベルで自家用車の乗り入れを禁止するという提案です。そのかわりに、別の場所にまとまった駐車場を確保します。不便に感じるかもしれませんが、良い景観を生み出すためには多少の我慢は必要なのではないでしょうか。

U35については、こちらをご覧下さい。⇒　http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000071812.html

今年は10年に一度の、京都市の10年後を考える年です。
市政をよく知り、よく考え、利用し、参加し、仲良くなろう

発行：京都市　編集：未来の担い手・若者会議U35